

### <百名山の初回成功率>

北の山から順に百名山の記録を載せました。全部読むのは大変ですが、興味のある山や行こうとしている山の参考として見ていただければと思います。晴天の登山の時が良い思い出です。しかし晴天ばかりにならず、せっかく行ったのだからと雨でも慎重に登った事がけっこうあります。道が整備されてわかりやすく、途中に山小屋があって登山者も多い季節だからできたというところでしょう。しかし初挑戦で途中まで行って断念して引き返した山が5つもあります。順に宮之浦岳、男体山、富士山、月山、聖岳です。当時の天候や積雪が原因ですが、5%もあったことになります。百名山を完成するためには、あきらめて引き返さなくてはならない時があるということです。この5%の山は登りだしてから途中で断念していますが、事前の天気予報などで計画を変更したのも別にあります。本当なら天気の良い、写真写りの良い時に登りたいものです。山頂で雨か雪だった山は16あります。途中で雨に降られた山はかなり多いです。どっかの山で雨に会おうと思っておいた方が良いでしょう。天気が悪かった山は、いつか違う季節に違う道から登ってみたいと思っています。

### <山での人との出会い>

100の山に登って不思議だったのが、示し合わせていないのに、以前の山で出会った人に再会したことです。そんな場面が3回もありました。

①金剛山と一緒に登った人と 筑波山に行く駅で出会って一緒に登った

②斜里岳・羅臼岳で出会った人と、巻機山山頂近くで出会って一緒に下山した

③聖岳で出会った二人と、塩見岳の雨の登山道で出会った

3%の確立になりますが、②と③は顔をはっきり覚えていないので、話をしなければ気づきませんでした。再開した時は感激です。みんなにこのような感激を味わってあげたい気持ちです。案外すれ違っている人の中にも、以前すれ違ったり話したりした人がいたのかもしれませんが。人との偶然の再会は、きれいな景色やおいしい食事よりも心に残りました。

私の山行の記録方法について紹介します。まず写真撮影をします。そしてパソコンのエクセルに貼り付けて保存していきます。一緒に登った人に印刷して渡したり、メールで送ったりしています。今回添付したデータは、それらをポスターみたいにしたものです。

### <デジカメでの撮影>

山に登る時はデジカメをリュックかズボンベルトにつけています。歩きながらも右手で操作して写真撮影をしています。デジタルだと気に入らないものは消去すれば良いので、遠慮なくたくさん撮影しています。(電池容量だけ気にしています)雨が降っても必ず撮影します。濡れて壊れたらあきらめます。(安いのを手にいれておきます)出発点、山道、分岐、山頂、花や草木、川や山の斜面、終着点など思い出に残る場所を撮影しています。とにかく雨でも雪でも撮影します。多少カメラが濡れても撮影します。でないとまた次の機会がいつくるかわかりません。でもやはり晴れて欲しいです。

### <デジカメのトラブル>

- ① デジカメを山の途中で忘れてたり落としたりしたことが7年間で3回あります。すぐに気付いて取りに戻ったのでなくさなくてすみません。最近はビデオ撮影もしています。新品のビデオを登山口に忘れてしまい、急いで戻ってまた登るといっためんどうなことが1回ありました。ビデオにはデジカメ機能があるので予備として助かります。最近の光学ズームは便利です。
- ② 雨に濡れてしまうことはしょっちゅうあります。データまで壊れた時は悲惨です。なんとか記録できているので事なきを得ています。雨でなくてもデータが消えたことがあります。自分で間違っただけで消した時はかなり後悔します。そのために撮影しなおしに行った山が関東にふたつ(鼻曲山・浅間隠山)あります。最近では帝釈山などのデータが消えましたが、復元プログラムでいくつか再生できました。データ破損は嫌です。